

令和元年 第2回定例市議会

教 育 行 政 報 告

恵庭市教育委員会

第2回定例会が開催されるに当たりまして、第1回定例会以降における教育行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

小中連携教育の推進
について

はじめに、小中連携教育の推進について申し上げます。
平成28年度に設置した恵庭市小中連携教育推進委員会において、中学校区を基本としたプロジェクトを組織し、小・中学校9年間を見通した教育活動を進めております。5月13日に本年度の第1回目の合同会議を開催し、市内全校の担当者の参加のもと、これまでの取組や今後の計画等について情報交換を行ったところであり、今年度も小中連携教育の推進に努めて参ります。

学校運営協議会につ
いて

次に、学校運営協議会について申し上げます。
昨年度までに柏小学校、若草小学校・柏陽中学校の3校に学校運営協議会を設置したところではありますが、今年度は新たに3校に設置することとし、恵庭小学校、松恵小学校は5月に第1回目の会議を開催し、恵庭中学校は6月20日に第1回目の会議を開催する予定であります。

引き続き、「地域とともにある学校づくり」に努めて参ります。

学校訪問について

次に、学校訪問について申し上げます。
4月3日に開催した校長・教頭合同会議において、本年度の教育行政の執行方針を示したところであり、5月7日から30日にかけて、教育委員と教育委員会事務局が全ての小中学校を訪問し、学校教育基本方針に基づいた各学校の取組について確認を行うなど、学校経営における課題を共有したところであり、これからも学校と連携して教育の充実に努めて参ります。

全国学力・学習状況調査について

次に、全国学力・学習状況調査について申し上げます。

全国学力・学習状況調査は、4月18日に市内全小中学校で実施し、小学校6年生では国語、算数の2教科について、中学校3年生では、国語、数学、英語の3教科について実施したところであります。

今後、国からの結果通知は8月に予定されていることから、その調査結果を踏まえ、学力向上に向けた取組を推進して参ります。

就学支援について

次に、就学支援について申し上げます。

準要保護世帯について平成31年度新小学1年生となる世帯に対し、新入学児童学用品費の支給を入学前の3月に行ったところであり、また、高等学校等に進学する世帯に対しては、入学準備金の支給を4月に行ったところであります。

さらに、大学奨学金については、平成29年度、30年度に採用した学生に加えて、今年度は7名の学生を採用決定し、1回目の支給を5月に実施したところであります。次年度分につきましても、周知を早めに取り進め、向学心をもった多くの学生に利用していただけるよう努めて参ります。

発達障がいにかかる通級指導教室について

次に、発達障がいにかかる通級指導教室について申し上げます。

通級指導教室の今年度の運営・指導について、4月16日に柏小学校で、4月23日に和光小学校で保護者説明会を実施し、昨年度から対象である児童と今年度新たに対象となった児童について順次指導・支援を開始しております。

今後も、児童一人ひとりの状況や教育的ニーズに応じた支援を行なって参ります。

青少年国際交流派遣
事業について

次に、青少年国際交流派遣事業について申し上げます。

市内の中・高校生が海外でのホームステイなどの体験を通して、国際理解や国際感覚とともに、コミュニケーション能力の向上を図ることを目的として、ニュージーランド・ティマル市に3月16日から4月7日の日程で中学生1名、高校生2名、随行者1名を派遣する予定でしたが、出発前日にニュージーランド・クライストチャーチにおいて銃乱射事件が発生したことから、参加者の安全確保を最優先し急きょ出発を延期したところであります。その後、関係団体等と再度協議し、7月22日から8月5日の日程で派遣することに決定いたしました。

今後も、渡航の際には安全面に十分配慮しながら、引き続き事業を実施して参ります。

市民講座について

次に、市民講座について申し上げます。

市民の教養や生活技術の習得を通して学ぶ喜びと生活に潤いを持ち、豊かな人間性を培うことを目的として、4月5日に市民会館及び島松公民館において、16講座に約330名の受講者による開講式を実施したところであります。

年間に20回の予定であり、すでに4回目を終了したところですが、引き続き、円滑な運営に努め、充実した学びとなるよう取り進めて参ります。

長寿大学について

次に、長寿大学について申し上げます。

63歳以上の市民を対象に、生涯学習社会・長寿社会にふさわしい学習機会を提供し、高齢者の生きがいくくりと社会参加への促進をねらいとして、4月17日に45名の新入生と33名の大学院進級生をお迎えし、入学式並びに始業式を挙行了したところあります。

少年の主張について

本市の特色である「読書」や「花」などについて学ぶ「まちづくり科目」など、市民ニーズに応じた講座を開設し、「次世代につなぐ人づくり、地域(まち)づくり」を進めて参ります。

次に、少年の主張について申し上げます。

青少年が自分の考えを正しく伝える力を身に付け、コミュニケーション能力の向上と自我形成の助長を目的として、6月6日に恵明中学校において市内各中学校代表生徒による発表会を開催し、最優秀賞受賞者1名が7月4日開催の「少年の主張石狩地区大会」に出場することになっており、大会での活躍が期待されるところであります。

青少年宿泊研修施設について

次に、青少年宿泊研修施設について申し上げます。

青少年研修センターの閉館に伴い、新たに簡易宿泊機能を持った青少年宿泊研修施設が恵庭リサーチ・ビジネスパーク内に完成し、4月から開館いたしました。

1室14名定員の大部屋形式の部屋を2部屋とシャワールームを用意し、主に市内の小・中学生の団体を対象にした研修やスポーツ合宿等へのニーズに応えるべく、新たな学びの場として展開して参ります。

読書活動の推進について

次に、読書活動の推進について申し上げます。

「子ども読書の日」記念事業として、図書館では4月2日から5月6日まで、「親子のためのパペットシアター」や「子ども映画会」、子どものおすすめ本の展示「この本読んだ？2019」などの行事を行うとともに、小中学校でも、校長先生などによる特別読み聞かせや記念展示など、子どもの読書意欲を高めるための事業を実施しました。また、6月18日から3日間「図書館を考えるフォーラム」を図書館本館、分館で行い、今後の図書館のあり方や読書活動推進計画

郷土資料館事業について

などについて、市民に広くご意見をいただくこととしているところであります。

今後も、読書活動の推進に向けて、様々な事業を通して読書活動の推進に取り組んで参ります。

最後に、郷土資料館事業について申し上げます。

郷土資料館では、企画展として、3月23日から4月7日にかけて市内在住作家による創作人形展「昭和の子どもたち」を、4月27日から5月6日にかけて、端午の節句にちなみ「五月人形展」を、また、4月27日から5月26日にかけて「遺跡発掘調査成果展」を開催いたしました。ゴールデンウィーク期間中には、「むかしの道具体験コーナー」を設け、昔の生活を体感していただきました。

また、埋蔵文化財保護と史跡整備への理解を深める事業として、5月18日に第1回目の「カリンバ土曜講座」を開催し、5月25日には、史跡隣接町内会等のご協力をいただき、カリンバ史跡周辺のごみ拾いや花壇への植栽など環境整備を行いました。

今後も、講座や観察会、体験学習会など各種啓発・普及事業を推進して参ります。

以上、第1回定例会以降における教育行政執行の主なものについて、その概要を報告いたしました。

今後とも、恵庭市の教育水準向上のため一層の努力を重ねて参る所存でありますので、議員各位のご指導とご協力をお願い申し上げ、教育行政報告といたします。